

『心豊かで活力に満ちた生徒の育成』



佐世保市立日野中学校

校長 橋本隆保

生徒数 435名 学級数14

所在地 佐世保市日野町2079番地

1 校訓

『愛』

- (1) 自ら目標を持ち、進んで学び、自ら考え、正しい判断ができる生徒の育成
- (2) 思いやりの心を大切にし、生き抜く力のある生徒の育成
- (3) 心身ともに健やかな生徒の育成
- (4) 人間の尊厳を重んじる、人権を考える生徒の育成

【平成26年度重点努力目標】

- 自己実現のための学力の向上
- 心に響く開発的生徒指導の充実
- 特別支援教育の推進と実践
- キャリア教育研究大会公開授業の成功



2 実践内容

(1) 部活動の活躍

本校では、開校当時から各部活動において、佐世保市内はもとより長崎県大会・九州大会または、全国大会において優秀な実績を有している。

今年度も、例年に見劣りすることなく様々な部活動で優秀な成績を収めている。

①運動部

佐世保市中体連を突破し、県大会へ駒を進めた部活動は6団体を数えた。夏季大会においては、女子ソフトボール部、軟式野球部、男子バドミントン部、女子ハンドボール部、女子バレーボール部の5団体が出場、秋季大会においても、男子駅伝部が佐世保市中体連駅伝競走大会で初優勝し、2年連続で県大会出場を勝ち取った。



また、個人戦においても新体操部、体操部、水泳部、バドミントン男子ペア（1組）が県大会へ出場し、力のこもったパフォーマンスを見せてくれた。

中でも特筆すべきは、男子バスケットボール部・女子ハンドボール部と女子ソフトボール部であろう。男子バスケットボール部は、圧倒的な強さを発揮し、県大会を突破し九州大会出場を果たした。女子ハンドボール部も惜しくも決勝戦では敗れはしたものの、九州大会出場権を勝ち取った。女子ソフトボール部は、九州大会において、昨年に引き続き優勝し、2年連続九州チャンピオンに輝き、全国大会出場を果たした。

3年生が一線を退いた後の活躍もめざましく、軟式野球部は県予選を1位で通過し、その勢いそのままに九州大会でも優勝し、全国大会出場を決めている。

尚、親和銀行日野支店に協力していただき、県大会・九州大会・全国大会出場については、横断幕を作成し、親和銀行駐車場のフェンスに掲示させていただいている。



②文化部

本校には文化部が2つ設置されている。吹奏楽部と美術部である。両部とも運動部に負けず劣らず熱心に活動している。吹奏楽部は、今年度の吹奏楽コンクールで銀賞を獲得した。美術部においても、西日本読書感想画コンクールで優秀賞を受賞（1名）、全国海の絵画コンクールにおいては佳作を受賞（2名）、子ども県展では、県知事賞・教育長賞を受賞、他にも4名が入選するなど、各種コンクールで多数の入賞者を出している。

(2) 第14回日野中学校体育大会

今年度の体育大会は、10月に行われた「長崎がんばらんば国体」の影響もあり、開校以来初となる春（5月）の開催となった。学校はもとより、PTAも地域の方々にとっても初めてのことであり、手探りの状態での準備であったが、試行錯誤しながらも学校・保護者・地域ががっちりスクラムを組み、見応えのある体育大会となった。準備から大会当日まで、3年生が見事にリーダーシップを発揮し、競技に係活動に応援に精一杯取り組む姿には、来賓・保護者の方々より暖かい励ましと労いの言葉を多数いただいた。

開校から14年目を迎え、これから伝統を築き上げていく過程において、3年生から2年生へ良い伝統が引き継がれていくと確信している。

保護者・地域・県立大学のボランティアグループの多大な協力のおかげもあり、駐車場のトラブルもなく、感動に包まれた体育大会となった。



(3) 「親父の会」による校内美化活動

本校の恒例行事となった「親父の会」校内美化活動が、6月29日（日）に実施された。今回のメインは、ウッドデッキ・パティオ及び保健室前ベランダの塗装をはじめ、校舎内廊下・渡り廊下のワックスかけであった。また、「親父の会」では初めてとなるプールの清掃を行った。参加者は、保護者・生

徒・地域の方々・職員に加え県立大学のボランティアグループにも協力していただき、総勢293名での活動となった。

今回も例年同様、活動母体は部活動を単位とし、競い合うように清掃活動に取り組んでいた。天候にも恵まれ、さわやかな汗を流しながら、老若男女、協力して学校内外をきれいに磨き上げることができた。また、毎年の懸念材料であったプール掃除をしていただき、水泳の授業をスムーズに始めることができた。参加していただいた皆さんに感謝します。

(4) 学校のぼりの作成・設置

長崎県PTA連合会主催の「いじめ防止標語コンクール」に参加し、いじめ撲滅についての意識の高揚を図った。出品された作品の中から、約2割程度を選考し、長崎県PTA連合会に応募した。力作揃いで選考には、多くの時間を要したが、素晴らしい作品を数多く出品することができた。



その中でも、特によくできた作品を2点選び、「日野中学校のぼり」を作成することとした。これまで学校の正門から玄関にかけて掲げていた「のぼり」が老朽化に伴い破損状態が悪化したことで、これを機会に新調することとなった。新年度からは、新しい「のぼり」が中学校の環境美化に一役買ってくれることとなるであろう。

(5) 各種検定等への挑戦

基礎学力向上の一環として、毎日パソコン入力コンクール・英語検定・漢字検定等各種検定に取り組んでいる。全校生徒へ英語検定・漢字検定への挑戦を呼びかけ、多数の生徒が自分の力を試そうと参加している。検定合格者を全校生徒の前で紹介するなど、意欲づけの面でも工夫している。

中でも、本校の特色の一つとして取り組んでいる「毎日パソコン入力コンクール」（毎日新聞社・日本パソコン能力検定委員会主催、総務省・文科省・厚労省・経産省等後援）に今年度も挑戦している。

パソコンに親しむ習慣とキーボード入力の技能を高めるために、技術・家庭の基礎学習としての取組の他、昼休みや放課後の時間を利用して練習を積み重ねた。その結果、成績優秀だった3年生生徒1名が全国大会に出場し、堂々4位の成績を収めている。また、「優秀中学校賞 1位」を獲得し、同時に「最優秀学校賞：日本一」を受賞した。

(6) 地域行事への参加

吹奏楽部を中心として、積極的に地域の行事へ参加している。

11月15日（土）に開催された「相浦地区公民館祭り」、12月6日（土）に開催された「相浦地区防犯パレード」に参加した。

また今年度は、椎木町防犯パトロール隊結成10周年記念パレードにも参加し、長崎がんばらんば国体マスコット、がんばくん・らんばんちゃんとともに華を添えた。





(7) 学校カレンダー作成

毎年、保護者・地域の方々に好評いただいている「学校カレンダー（平成27年度版）」を今年度も作成し配布する。

各月に本校の行事予定を印刷したものに、平成26年度の子供たちの取組の様子を写真で紹介したものを作成している。

保護者や地域の方にとっては、学校の予定が分かり、年間の計画が立てやすくなる。

また、学校カレンダーの配布は、学校行事への参加者の増加につながっている。

(8) キャリア教育研究大会公開授業の成功

平成26年度長崎県キャリア教育研究大会が本校を会場に行われた。「夢、希望、そして未来へ」という大会主題のもと、県内より150名以上の参加者が集い、キャリア教育の推進について意見を交換した。

各学年より授業を提供し、本校が取り組んでいるキャリア教育の1コマを公開した。

大会当日は、佐世保市キャリア教育研究会の完全バックアップの中、道徳・学活の授業を公開し、本校生徒の日頃のがんばりを、広くアピールすることができた。

参加していただいた先生方、長崎県キャリア教育研究部会の役員の方々、佐世保市キャリア教育研究部会の先生方、補助役員として研究会に参加していただいた本校PTAの皆さんに深く感謝します。



3 成果

「あいさつ運動」や「文化発表会」等、この紙面では紹介できなかった活動が他にもたくさんある。その一つ一つを振り返ってみると、もちろん本校生徒や教職員の力が発揮され、成功している行事もあるが、保護者や地域の方の協力無しには実現できないことがよく分かる。『学社融合』・『地域との連携』等、言葉にすると簡単なものではあるが、実際はクリアしなければならない問題も多い。

本校の学習活動や生徒指導は、子供たちが最も熱心に取り組んでいる「部活動」の力に頼るところが大きい。部活動で、達成感や成就感・満足感を味わわせ、それを日々の教育活動にフィードバックさせていく方法を数多く取り入れている。その成果が、各部の好成績や落ち着いた学校生活につながっていることは間違いない。

その活動に、保護者が関わり、更に地域の方の応援が加わり、教育効果が向上している。

4 今後の課題

今年度、新たに特別支援学級（情緒学級）が設置され、昨年までとは違った特別支援教育を行っている。まだ手探りの状態が続いており、今回は特別支援教育には触れることができなかった。今後、更に研修を重ね、特別支援教育に携わっていかなければならない。

キャリア教育研究会の授業を担当することによって、「進路指導」という言葉から「キャリア教育」へ移行していくことに抵抗感がなくなってきた。職業調べ・職場体験学習等をとおして、更にキャリア教育の研修を深めていかななくてはならない。

本校の最も大きな課題は、学力の向上をいかに図っていくかということである。現状に満足することなく、学力の底上げを目指して、日々の教育活動に取り組んでいかなければならない。“温故知新”今まで築き上げてきたものを大切にしながら、新しい試みにも挑戦していく日野中学校でありたい。